

週寫眞
報

編輯局報情
ン七十・號三十六百二第・日七十月三



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

情 報 局 編 輯

三 月 十 七 日 第 二 百 六 十 三 號

寫 眞 週 報



（昭和十一年）三月十七日 第三十六百二第日七十月三

皇土に根ざし
 風雪に耐へて二百年三百年を
 今日の日のために
 生きぬいてきた巨木だ
 その命を捧げる日の壯絶さを想へ
 我等その心をくみ、その心に應へ
 木もて船を造らう
 皇國の幸をはこぶ船を

「時の立札」は他へ轉載その他に転用下さい

巨木擧つてお召しに應じよう

岡山縣 入江 泰吉

岡山縣 岡山市 木山神社の神木は、國難打開のため軍需資材として擧召する。この大樹は同神社の祭神須佐之男大神のおひげか白生したものとされてゐたものである



巨木を召しおての感じ

参道の老杉は地盤を打つて倒れた

「神木が供出された」「五代にわたったあそこ、杉林も供出された」かうした氏子や篤志家および隣村などによる木材の供出は、いま、廣く全国的に行はれておます。いふまでもなく、供出された木材は戦局の進展に伴つてます。必要となつてきた兵器や糧秣、車輛等の資材として、勝つための有力な力となつてお役に立つわけです。

しかし、この供木といふことは、もうわが國には軍需品の資材となる木がないといふわけではなく、それらの用途に向けられる木材の伐採が到底需要に足りないのです。樺や樫などの特殊材は山奥には相當あるのですが、それを伐つて運び出すのに相當の時日が要る上に人手も多くかゝり、ソレツといふ間に合ひません。

そこで供木運動も運搬が比較的樂にできる屋敷林や公園、神社佛閣の境内林とか、街道の並木、平地林等を伐採することが對象となつておます。

これらは、或ひは父祖傳來のものであつたり、或ひは史蹟名



勝天然記念物として由緒ある並木であつたり、平時であれば決して伐れないものばかりでありませうが、一人息子さへお國に捧げるときです。戦力を増すためにこの際、進んで供木に懸きませう。

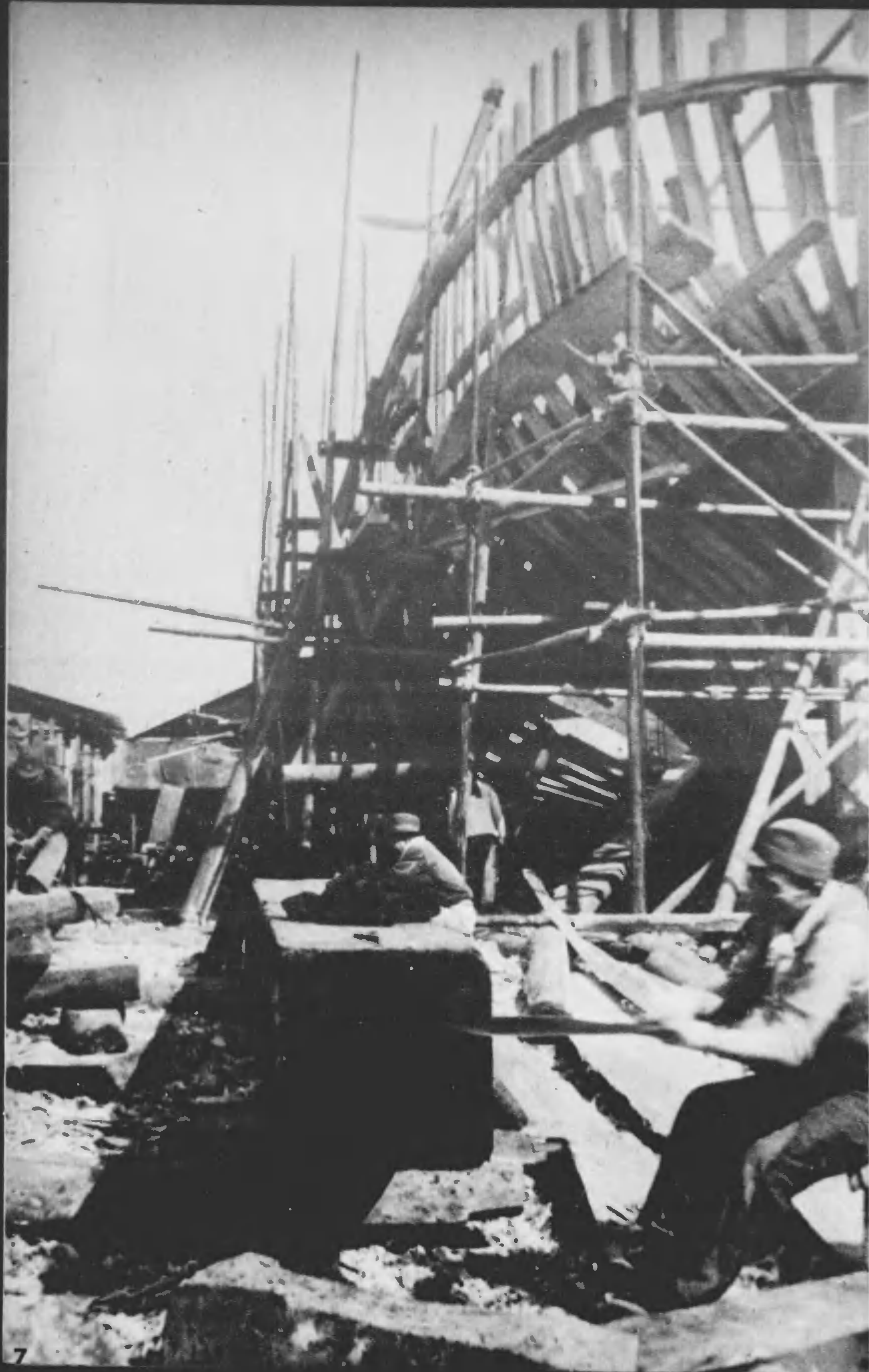
勝つためだ、村民の決意は固く岡山縣社木山神社の神木が村民歡呼の聲に送られて「應召」しました。

参道並木の伐採は境内の森をそこなはぬために十分な調査が行はれた。樹齡三百五十年の樫も村民の答によつて應召する。

伐り倒された樹齡約三百五十年の老杉この杉の伐採は、直徑一メートル八十七センチ、高さ四十四メートル、重量七千五百キログラムである。

神木は雪中を怒々と應召する





たし水造は船木船標準 1日9つか早も日三りよ完備

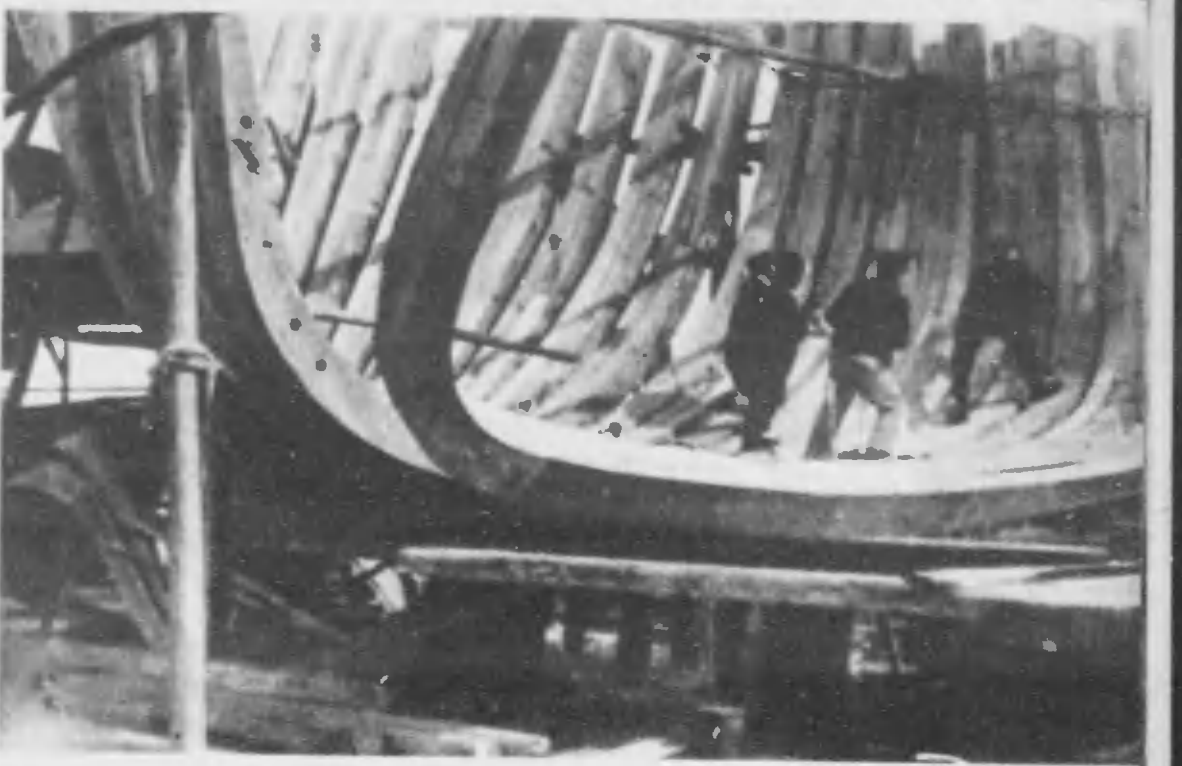
長くも 天皇陛下には、戦時下における木船の重要性を思召され、木船材を御下賜あらせられました。聖慮の程、まことに畏き極みであります。このありがたき聖慮に感謝、感泣した政府は、勿論木船建造のため各地の國有林をどしどし伐り出してありますが、さらに全国的に木船用木材供出が國民の盛り上げる力として行はれてゐることはご存じの通りです。からして供出された木材は、直ちに造船材

應召の木材は続々木船に

大阪

に使用され、去る一月に戦時標準型貨物船の第一船が大阪で進水してから、続々と標準船が全國の造船所で造られ、各方面の海域に航行してゐます。こゝ大阪の造船所では木材供出者の意氣に感じて、一日でも二日でも早く標準船を造り上げようと、夜に日をついで造船の斧を振つてゐます。次々と進水する木船は敵艦滅戦に、或ひは大東亞の建設戦に、堂々日の丸の旗を押し立てて大洋に乗り出してゆきます。

天を衝くやうに木船の意氣は高く、船の組立も終り、一日も早く海に出る日を持つてゐる。



肋骨は次々と組立てられてゆく。船骨は既に揃えられ、これから肋骨が次々と組立てられる。

肋骨に外板をくっつける作業は、寒中もいとすずめられてゐる。

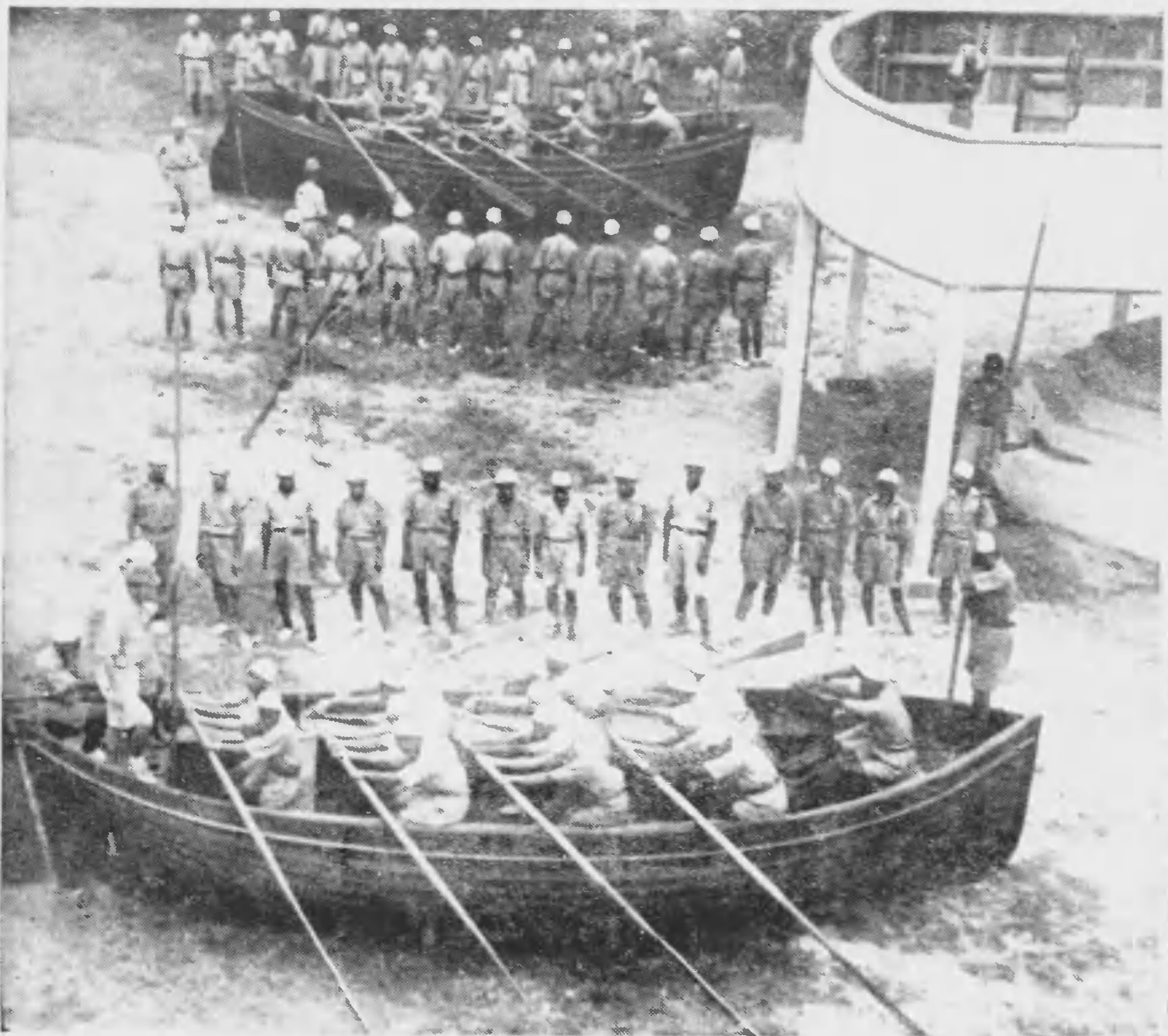
外板のつき目から水がはいらないやうに充填物をつめてゐる。



「かうヤン」指をまき、この係官の指に倣して、指を指すに習
 する。身操り等も日本の海軍に倣はせられて、指を指すに習



「強し」を感づかぬに、健全な南の海の手が選ばれる



八本のオートルもつかり揃ふやうになり、海上練習を終へ
 て、船は一列を縦に並べ、このやうに、（日）

昭南現地船員養成所

員用官船不船月 昭南



昭南現地船員養成所
 昭南現地船員養成所
 昭南現地船員養成所



大東洋の海を日本の船で押す事、いま高
 らかに進められてゐる。進め進め進めと呼んで、
 等も海軍民族だ、南の海は我等の腕で乗りこ
 と、二日一日マライにはじめて開闢された昭南
 現地船員養成所には、第一回入所生二百五十名
 昭南の海の子が、雄ひの白帽にカーキ色のシャツ、
 半パンツの制服姿も、雄々しく、投軍作業に、短艇
 訓練に、日高會話にと、雄々しく猛烈な訓練を重
 めてゐます。
 黒々と目打した皮筒、腰のやうにマストに
 のぼる旗だ。もうあと三ヶ月もすると一人前の
 船員で、日本の海軍も認めて、毎朝の国旗
 掲揚に仰ぐ日の丸を、インド洋の海風にはためか
 せて、大東洋の海に海上輸送の重責をはたさう
 と、勇猛な訓練を続けてゐます





シヤカッタの工場に日本銀行、日の大額紙を手に手に

金貯丸の日もにワヤジ し母頼



昭和十七年度の国民貯蓄の目標額二百三十億は、一、二、三月の第四
 四半期にまで五十億を凌いでしまいましたが、もう間もなく決算期です。さ
 ら、もう一息、最後の頑張りで二百三十億を前に突破し、本年度の
 二百七十億に十分近づいておきましょう。

これは、貯蓄は、内地のみならず、専賣特許ではありませんよ。と
 いふシヤカッタの頼母といふ使りで、島東の西成に居るシヤワは、
 シヤカッタ大東亞の建設のためにといふ旨い言葉が、現地住民の間の
 力強い貯蓄熱となつて盛り上がり、シヤワの頼母を貯蓄帳を手にし、あ
 くまで大東亞戦争を勝ち抜き決意を固めてゐるので。

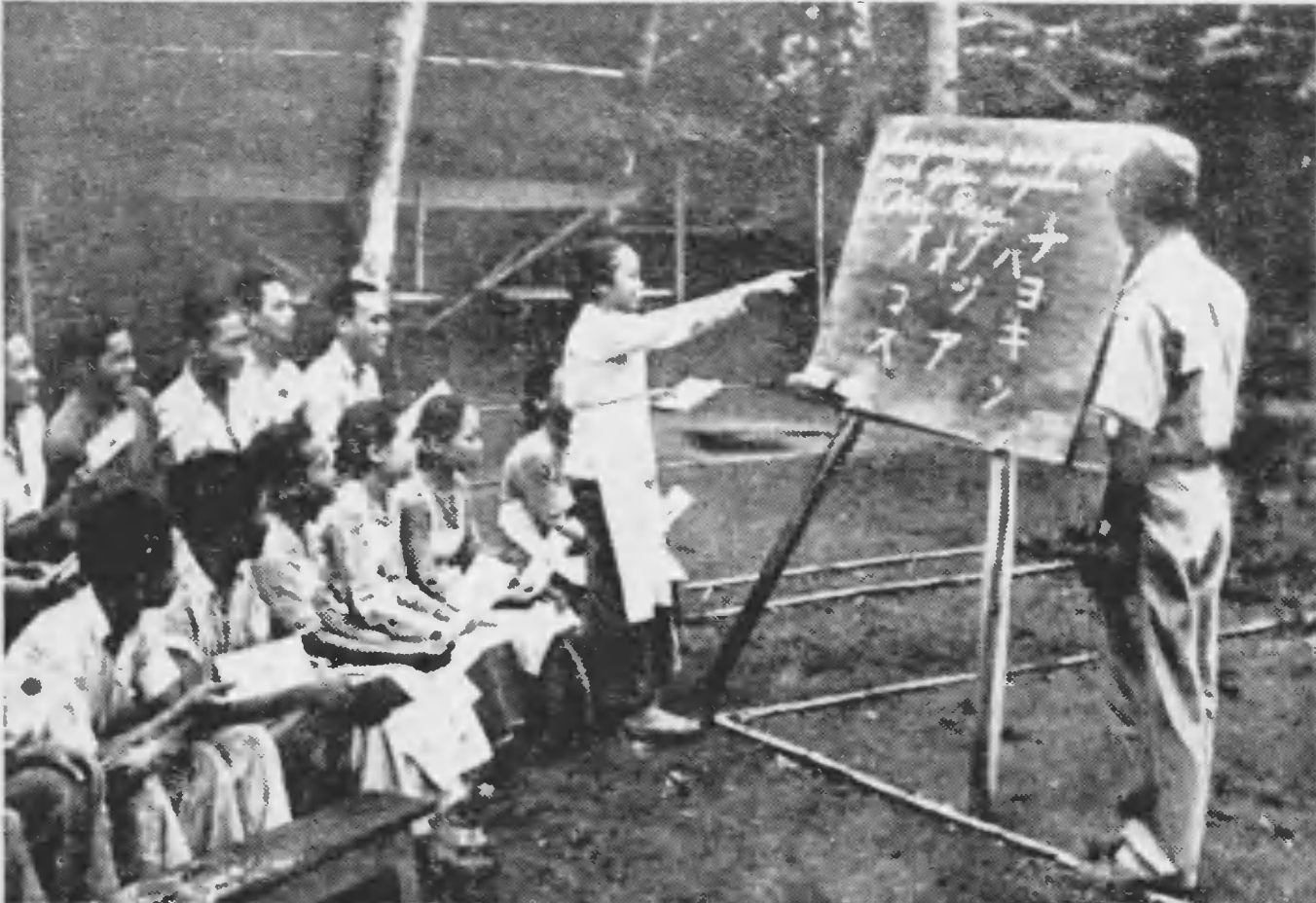
撮影 シヤワ軍報局



天引貯金は苦手だ。とんでもない、シヤワのお友達に喜
 びで参加してゐます。
 朝から大繁昌のシヤカッタの貯金局



「チヨキン」ハ「アジア」オオロスハ「キロ」をへたて
 も「朝」を「時」に「つ」です



に隊部のワジ く届文問慰

部隊報ワジ 影壇



ガキ一本の慰問文は、まことに味気ないものですから、鉄後の文通はハガキです。慰問文だけは手紙で書くやうにしたいものです。

恤兵部宛に

以上は、皆さんが部隊名や名前をご存じの勇士に、つまり個人宛に出す場合のことですが、部隊名も名前も分らない勇士に出す場合には、慰問文なり慰問袋の表に、「アリューシャン方面の海軍の兵隊さんへ」とか、「南方の陸軍の兵隊さんへ」と書いてお出しなれば、郵便局では陸軍省兵隊部へ郵送し、恤兵部ではこれを前記の取扱地域は勿論のこと、個人宛には送れない所でも、皆さんの希望される方面の兵隊さんにお届けいたします。

尤も、封筒や包装紙が十分ありでしたら、お手数でも、更に別の封筒に入れるなり、包装するなりして、次ぎの所にお送り下さいませませ結構です。東京市牛込区 陸軍省恤兵部 東京市麹町区 海軍省恤兵部



野戦郵便隊 員の活躍



あなたの慰問文は
どんなに兵隊さん
を喜ばせてやう

「はい、おいつも
どうやら一人前にな
つたな」僕も頭強
そ、親父からの便り

便りをおこいで、久
しぶりに嬉しいひと
とき



内地から海山の便り、兵隊さんの心の弾丸だ
「オニオン、コレオレナホ」重心に
こもる愛の嵐がどんなに兵隊さんを喜
ばせてくれるやう

角の真心こめた慰問品が無駄になつてしまふといつた例も少くありませんから、ことに慰問袋の包装は、とくに厳重にして、途中で壊れることのないやうに注意下さい。

また、慰問袋（小包）に腐り易い生果物などを入れる方も少くありませんが、裏面に書いた柿や戦地の息子に、弟にといったお気持は、まことに涙の出るほど輝くことではあります。ご承知のやうに大東亞戦争の戦場は、北に南に東に西に、大して、内地からの軍事郵便も場所によつては数日もかゝり、その上、空下敷十度の酷寒の地もあれば、百五十度を超す炎熱甲斐焦がす所もあり、生果物などを完全に送ることは到底できないこととあります。二つの慰問品が腐つたために、一緒に送つた他の方のものまでが腐つてしまつたといつた例も少くありませんから、生果物類を慰問袋に入れることは、絶対になさらないやうにお願ひします。

普通郵便と電信

最後に、南方占領地域の在留邦人や、原住民宛の普通郵便、電信も、大きいやうな規定で扱つてをりますからご利用下さい。なほ、郵便料は、すべて内國郵便と同様です。

以上でお不便の點がありましたら、最寄りの郵便局か、または東京市麹町区大手町通信省郵務局業務課（電信は電務局外信課）へお問合せ下さい。

取扱地域名	郵便物種別	特殊取扱	用語制限	為替業務
比 港	通常第一種、第五種郵便物に限る	書留	なし	小為替、通
マ 島	料金完納の左の通常郵便物に限る	但し比島、マライ、スマトラ	宛名、漢字、片假名、ローマ字、またはローマ字	一、セレベ
スマトラ島	第一種 書状	スマトラ	通信用語	ス、マカ
北ボルネオ	第二種 郵便ハガキ	スマトラ、北ボルネオ、ジャワ島	通信用語、日本語、英語、ローマ字	ス、マカ
ジャワ島	第三種 定期刊行物	スマトラ、北ボルネオ、ジャワ島	日本語、英語、ローマ字	ス、マカ
ビルマ	第四種のうち	スマトラ、北ボルネオ、ジャワ島	日本語、英語、ローマ字	ス、マカ
南ボルネオ	第四種のうち	スマトラ、北ボルネオ、ジャワ島	日本語、英語、ローマ字	ス、マカ
セレベス島	印刷物	スマトラ、北ボルネオ、ジャワ島	日本語、英語、ローマ字	ス、マカ
セラム島	業務用書類	スマトラ、北ボルネオ、ジャワ島	日本語、英語、ローマ字	ス、マカ
小スンダ列島	商品の見本	スマトラ、北ボルネオ、ジャワ島	日本語、英語、ローマ字	ス、マカ

二、電信

- (一) 取扱地域名
- (イ) マライ、スマトラ、ジャワ全部
 - (ロ) フイリピン、マニラ、マンカヤン、バギオ、サンタクルス、バタンガス、マンブラオ、レガスピ、イロイロ、サンホセ、カバナツアン、ルセナ、ダバオ、サンボアンガ、コタバト、ラオアグ、サンフェルナンド、マロス、ピガン、カランバ、サンパブロ、リバ、パコロツド、セブ
 - (ハ) ビルマ、ラングリン、モルメン、ベグー、ブルーム、トンギー、ミンギヤン、マングレー、タウンギー
 - (ニ) セレベス、メナド、マカッサル
 - (ホ) グラム全部
 - (ヘ) 北ボルネオ全部
- (二) 用語 日本語の普通語で、假名またはローマ字
- (三) 料金 (和文料金)
- (イ) マライ、スマトラ、北ボルネオ、セレベス 五字まで二圓四十銭、五字増すごとに八十銭
 - (ロ) フイリピン 五字まで一圓八十銭、五字増すごとに六十銭
 - (ハ) ジャワ、ビルマ 五字まで三圓、五字増すごとに一圓

魚おの南



撮影 舟山映画報道班員

昭南近海の漁場では現地の支那人やマライ人が、食糧確保に力を入れている。おすしやおさしみは日本人の大好物ですが、今日では晩餐の食卓に、江戸前の味覚をそえる新鮮なおさしみがあつても間々あります。ご覧のやうに見かけはいさゝか怪物ですが、味は上々結構おいしく食べられます。

どこでも船着場は同じこと、景気の良い船着場でどん／＼舟が歸つて来ます。

明けやらの海に朝の収穫がもう網の中で隠つてゐます。



マライ語でイカンゼンギンといふ魚、日本の「あごなし」の一種。インド洋、マライ、南支那海などにわします。一メートルぐらゐの大きさで、なか／＼おいしいです。



マライ語で、カンメツといふ魚。日本の「はたけ」の一種です。味もよく、南洋一帶から海沿いまであります。大きいのは百斤近いものまであります。



マライ語でパレバインといひます。「つかえひの」一種で、背中の皮は軍刀の柄に使はれます。南支那海、東京湾、ベンガル湾などにわします。

寫眞週報 昭和十八年三月十七日 第三十三號



敵も
必死だ
かんば水
貯蓄

東海銀行 本店名古屋

寫眞週報
(兼轉載)

昭和十八年三月
十七日 印刷發行

情報局

東京市豊島区
本町一ノ丁目一
番

印刷局

内閣印刷局

東京市豊島区
本町一ノ丁目一
番

所 込 申	價 定
新聞販賣店 書店・轉賣店 全國各地官報 販賣所 寫眞材料店	一部十錢 (送料一錢) (外國郵送に依 る地域は送料 夫一部十九錢) ▲預約配達御希 の方は一部十錢 (送料一錢)の割 合を以て前金を 込(御申込みト さい) ▲特大號の場合は 其の都度御申込 金より差額を申 受けます

前號に本誌を
お読みになつたら本
誌を前號封筒に送り
ませう。送料は内地
と同様で封封あるひ
は同封にして第三種
と明記すれば、一部
一錢です

内閣印刷局印刷發行

(印刷用紙)A4規格定規はより大の書本